

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	浜松市			代表者名	中野 祐介
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル・スマートシティ推進部デジタル・スマートシティ推進課	連絡先電話番号	053-457-2454
担当者役職	なし	担当者氏名	村越功司	連絡先E-mail	
住所	430-8652 静岡県浜松市中央区元城町103-2				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	DXメンターフォローアップ事業
概要	経験や勘といった不確かなものに頼るのではなく、データやエビデンスといった客観的根拠をもとに政策立案や企画を行う術を習得し、より合理的で効果的な市民サービスを目指すための人材育成		
支援を求める分野	EBPM		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
対応日・時間	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年12月25日	講演(実地)	14時00分	16時00分	
				活動時間(分)	120
2-2.	会場名	浜松市地域情報センター		最寄駅	浜松駅
派遣場所	所在地	浜松市中央区中央1-12-7		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原 秀樹
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	初めてEBPMという用語を聞いた人でも実際の業務にどのように活かせるのかを具体的に想像できるような内容であった。また、行政手続きのオンライン化や業務改革の部分についてもふられていただき、研修終盤の質疑応答では多くの質問が寄せられた。
アドバイザーへの要望事項	姫路市での経験を踏まえたお話しもあり、行政職員にとって親近感のわく研修となりました。ありがとうございました。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	30人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	30			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 本市では多種多様なデータを保有しているが、現状としてそれらのデータを効果的・効率的な都市経営や政策判断に活用できておらず、市民サービスの向上に役立てることができていない。自治体EBPMに詳しい講師を招き、経験や勘といった不確かなものに頼るのではなく、データやエビデンスといった客観的根拠をもとに政策立案や企画を行う術を習得し、より合理的で効果的な市民サービスを目指す必要がある。				
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	経験や勘といった不確かなものに頼るのではなく、データやエビデンスといった客観的根拠をもとに政策立案や企画を行う術を習得し、より合理的で効果的な市民サービスの創生(子育て支援サービスや行政手続きオンライン化のより一層の推進等)				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少や財政難など自治体が直面する課題に対し、データ活用が有効</li> <li>データの抽象化や統計的手法の活用により、個人情報保護しつつ分析可能</li> <li>データ活用やEBPMの実践には、職員一人一人の意識改革が重要</li> <li>国への提案や他自治体との連携など、より広範囲でのデータ活用を目指す</li> <li>公務員だからこそできる政策立案の意識を持つことが大切</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員のEBPMに対するハードルが下がった。特に、人口減少や財政難など、少ないリソースで自治体に取り組んでいかなければいけない課題に対し、データの活用がいかに重要であるか共有認識がされた。また、データ活用やEBPMの実践には、職員一人一人の意識改革が重要であり、データに基づいて考え、行動する姿勢が重要であるという意識が高まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 組織全体のDX推進力の向上	⑦その他
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	特になし	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい 研修等により実践的なEBPMの実施	⑤その他
4-4. 事業の最終的な目指す姿	部局横断的にデータを収集し、データを用いて業務改革や市民サービスを向上させる	

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good\\_practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/)

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

